

2020 年度 事業報告

特定非営利活動法人 星とたんぼぼ

1 事業実施の方針

特定非営利活動法人 星とたんぼぼは、事業の立案、実施の各段階において、受益対象者である発達障害児・その家族及び園、学校が必要とするニーズを的確に把握する事に努め、コロナ対策を鑑み、安全安心な療育体制を考えていく。が、個々に対する療育は大切に、資質向上には考慮していった。職員に対しても、勉強の機会を設け、種々の研修に参加し、子どもたちへ返していけるよう努めた。また、第2事業所に向けて、職員の共通の勉強会を通して、平均化するよう努めた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
児童福祉法に基づく児童発達支援事業	就学前の子どもの発達支援	週1～3回	北事業所	5人	発達障害児 1日10名× 週6日	37,803
		3月～ 週1～2回	南事業所	5人		
発達障害児の療育に関する事業	申し出のあった子どもの療育	随時	北事業所	1人	就学後の発達障害児数 名	0
			南事業所	1人		0
発達障害児の療育に関する事業	希望する保護者の保育所等訪問支援事業	随時	南事業所	1人	星とたんぼぼいっぽづつに在籍する園に通う子ども	0

発達障害児の 家族に対する 相談事業	親の会	年2回	事業所等	3人	保護者	9
支援者に対する 研修、相談 事業	勉強会	年5回	事業所等	1人	療育者 12 人×5	0
	保育園での 指導	随時	岡山市内	1人	保育士 10 人	12
発達障害に関 する啓発事業	講演活動	6月	旭川厚生 専門学院	1人	学生	68
	黄色いレシ ートキャン ペーン	毎月11日	岡山イオ ン	2人	一般市民	0
	ポスター掲 示	随時	事業所	1人	来所者	0
	カレンダー 製作	9月	事業所等	1人	発達障害の 支援者	160

2021 年度 事業計画

特定非営利活動法人 星とたんぽぽ

1 事業実施の方針

特定非営利活動法人 星とたんぽぽは、事業の立案、実施の各段階において、受益対象者である発達障害児・その家族が必要とするニーズを的確に把握する事に努め、新たに取得した保育所等訪問事業を通して、園での一人ひとりのニーズを含め、医療との連携も取りながら家庭、園、学校、医療、福祉が一丸となって、子どもの健やかな成長のために共に取り組んでいく。また、職員の教育、研修に力を入れ、子どもたちに、より良いものを返していけるように努力する。また、第三者の意識や正しい理解を広めるために、啓発活動にも力を注ぐ。コロナ対策を鑑み、安全安心な療育体制を考えていく。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(2) 定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)	収入見込額(千円)
障害児通所支援に関する事業	就学前の子どもの発達支援	週1~3回	北事業所	5人	発達障害児 1日10名× 週6日		39,000
		週1~3回	南事業所	5人	発達障害児 1日10名× 週6日		39,000
障害児通所支援に関する事業	申し出のあった子どもの療育	随時	北事業所	1人	就学後の発達障害児数名	7.5	10
		随時	南事業所	1人		7.5	10

障害児通所支援に関する事業	申し出のあった子どもの保育所等訪問	随時	各保育園幼稚園、子ども園	2人	星とたんぽぽに通う子ども	300	300
		随時		2人	星とたんぽぽいっぱいづくに通う子ども	300	300
発達障害児の家族に対する相談事業	親の会	年3回	Zoom	3人	保護者	70	0
支援者に対する研修、相談事業	事業所職員勉強会	年5回	Zoom	3人	星とたんぽぽ職員 他事業所の希望職員	300	90
	園の職員の勉強会	年5回	Zoom	3人	希望する園の職員	200	204
支援者に対する研修、相談事業	星とたんぽぽ職員勉強会	年3回	Zoom (CARS勉強会) PECS 自閉症特別講座等		星とたんぽぽ職員	500	0
発達障害に関する啓発事業	講演活動	6月	岡山市曾根小学校	1人	保護者	8	10
	黄色いレシートキャンペーン	毎月11日	岡山イオン	2人	一般市民	2	30
	パンフ製作、配布	随時	事業所	1人	来所者	30	0
	カレンダー製作	9月	事業所等	1人	発達障害の支援者	190	0